# 情報セキュリティと認証制度に関する 調査報告書

2020年6月

一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター

(ISMS-AC)

# 目次

はじめに		1
I . 調査	概要	2
	査対象	
2. 調	査方法	2
3. 調	査期間	2
4. 調	査項目	2
Ⅱ. 回答	者プロフィール	3
Ⅲ. 調査		5
1. 全	:体	5
(1)	ISMS 認証未取得組織における情報セキュリティへの対応状況	5
(2)	ISMS 認証未取得組織における ISMS 認証に対する認識	8
2. 経	営上の重要度を軸としてみたときの傾向	13
(1)	所属組織の業種(F2×Q1)	14
(2)	情報セキュリティに期待する効果(Q2×Q1)	15
(3)	現在実施している情報セキュリティへの取組み(Q3×Q1)	16
(4)	情報セキュリティへの取組の成果に対する満足度(Q4×Q1)	17
(5)	ISMS 認証に対する認識(Q5×Q1)	18
(6)	ISMS 認証取得の希望(Q6×Q1)	18
(7)	ISMS 認証取得は必要ないと考える理由(Q8a×Q1)	19
(8)	ISMS 認証取得に取り組むことができないと考える理由(Q8b×Q1)	20
(9)	ISMS 認証以外の情報セキュリティに関する認証取得の有無(Q10×Q1)	)20
ⅳ. まとめ	b	21
付録・「小	青報セキュリティと認証制度に関するアンケート調査   設問	22

#### はじめに

情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の国際規格である ISO/IEC 27001 に基づく ISMS 適合性評価制度は、2002 年の本格運用開始以降、急速な IT 化の進展及びこれに伴なう組織の情報セキュリティリスクの増大を背景に順調に認証登録組織数を伸ばし、2019 年 12 月には認証登録組織数が6,000 件を突破しました。この間、情報マネジメントシステム認定センターは、制度の普及拡大に向けて、制度の運用状況及び改善点を把握するとともに、組織が常に直面する情報セキュリティ上の脅威に対するISMS の有効性を検証する目的で、数年おきに ISMS 認証を取得した組織に対するアンケート調査を実施して参りました。

このたび、今後の ISMS 適合性評価制度の更なる普及拡大に向けて、ISMS 認証を取得していない組織(以下「ISMS 認証未取得組織」)に対するアンケート調査を実施しました。調査の目的は、ISMS 認証未取得組織における情報セキュリティへの対応状況及び ISMS 認証に対する認識を調査・分析することにより、ISMS 認証未取得組織が ISMS 適合性評価制度に求めるものを把握し、今後の組織のニーズに応じた ISMS 適合性評価制度の普及拡大策検討の一助とすることにあります。

今回の調査では、ISMS 認証未取得組織に対する最初の本格的な調査として、ISMS 認証未取得組織像を把握することに主眼を置き、未取得組織の情報セキュリティへの考え方や対応状況と ISMS 認証に対する認識の関係を分析しました。更に、ISMS 認証未取得組織のうち過去に ISMS 認証を取得していた組織に対しては、認証を維持しなかった理由を調査しました。

本報告書により、今回の調査結果の概要をご報告するとともに、今回の調査結果をふまえて、ISMS 認証未取得組織を含め、情報セキュリティに取り組むあらゆる組織にとって活用度の高い制度とし、ISMS が産業界の情報セキュリティ底上げのインフラとして機能するよう、今後より一層邁進する所存です。

本報告書が、ISMS 適合性評価制度に携わる皆様の、制度運営上の課題検討の一助となれば幸いです。

2020 年 6 月 一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター (ISMS-AC)

# I. 調査概要

# 1. 調査対象

国内組織(ISMS 認証取得を除く)の経営層又は CISO(最高情報セキュリティ責任者)またはこれに相当する責任者

# 2. 調査方法

NTT コムリサーチを利用したインターネット調査

# 3. 調査期間

2020年2月26日~2月28日

有効回答数:1,041件

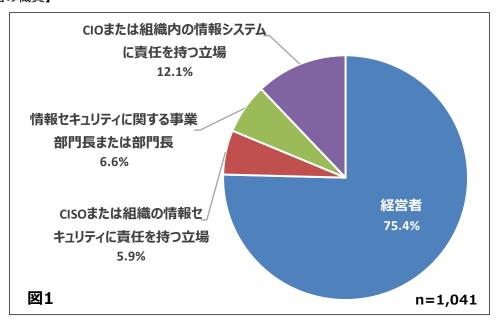
# 4. 調査項目

付録「情報セキュリティと認証制度に関するアンケート調査」設問を参照

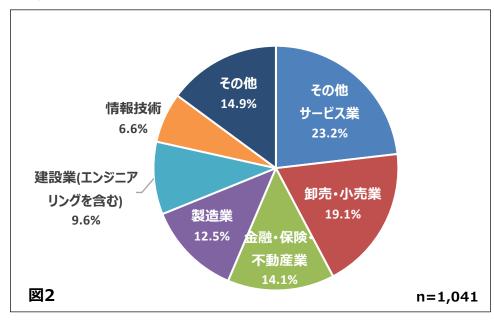
# Ⅱ.回答者プロフィール

今回のアンケートの調査対象は、国内組織(ISMS 認証取得を除く)の経営層、CISO(最高情報セキュリティ責任者)又はこれに相当する責任者であり、回答者(1,041名)のプロフィール(個人及び所属する組織)は次のとおり。

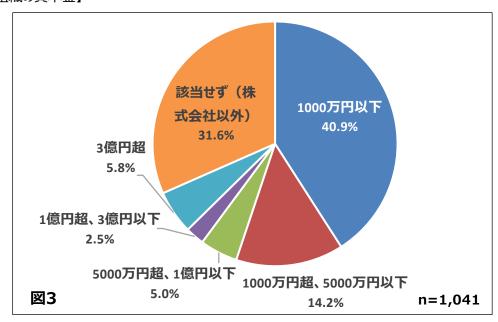
#### 【回答者の職責】



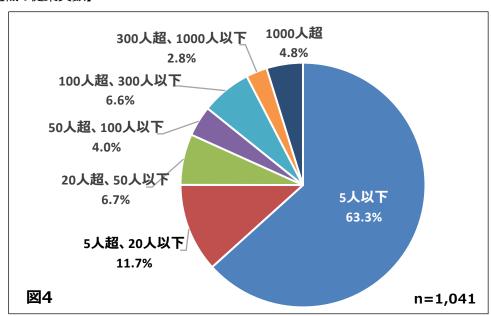
#### 【所属組織の業種】



#### 【所属組織の資本金】



#### 【所属組織の従業員数】



#### 【回答者の勤務地】

	人数	%
東京都	183	17.6
大阪府	85	8.2
神奈川県	75	7.2
愛知県	71	6.8
埼玉県	50	4.8
北海道	46	4.4
千葉県	42	4.0
兵庫県	42	4.0

	人数	%
福岡県	39	3.7
京都府	35	3.4
岐阜県	23	2.2
広島県	23	2.2
宮城県	18	1.7
静岡県	18	1.7
長野県	17	1.6
茨城県	16	1.5

	人数	%
新潟県	16	1.5
群馬県	14	1.3
三重県	14	1.3
愛媛県	14	1.3
滋賀県	13	1.2
和歌山県	13	1.2
その他	174	16.7
合計	1041	100

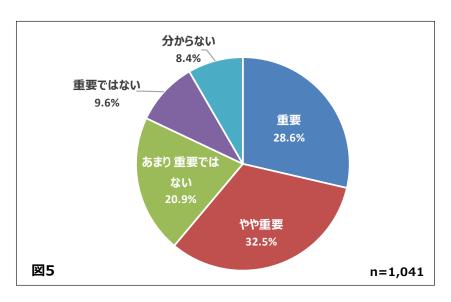
#### Ⅲ. 調査結果

#### 1. 全体

#### (1) ISMS 認証未取得組織における情報セキュリティへの対応状況

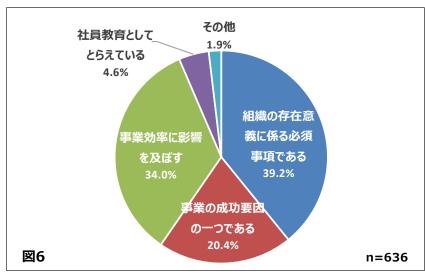
#### Q1 情報セキュリティの経営上の重要性

ISMS 認証を取得していない組織(以下、ISMS 認証未取得組織)に、情報セキュリティの経営上の重要性について「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」、「分からない」の 5 段階で尋ねたところ、全体の6割が「重要」または「やや重要」と回答した。「分からない」とした組織は1割未満であった。



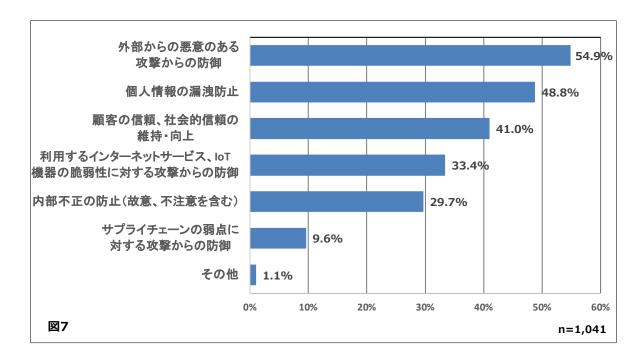
#### Q1a 情報セキュリティが経営上重要である理由

ISMS 認証未取得組織のうち情報セキュリティが経営上「重要」又は「やや重要」であると考える組織に、その理由を尋ねたところ、「組織の存在意義に係る必須事項である」(39.2%)、「事業効率に影響を及ぼす」(34.0%)、「事業の成功要因の一つである」(20.4%)、「社員教育としてとらえている」(4.6%)の順であった。



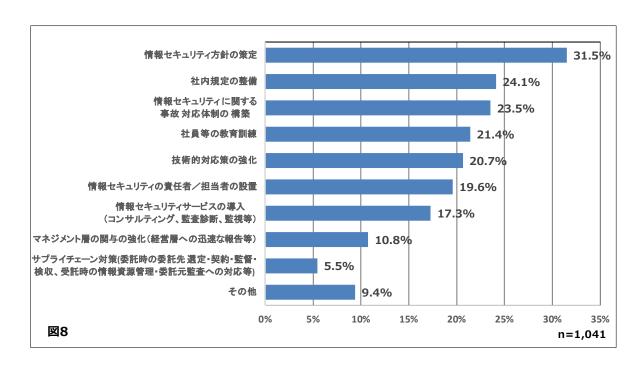
#### Q2 情報セキュリティに期待する効果

ISMS 認証未取得組織に情報セキュリティに期待する効果を尋ねたところ、「外部からの悪意のある攻撃からの防御」(54.9%)が最も多かった。次いで「個人情報の漏洩防止」(48.8%)、「顧客の信頼、社会的信頼の維持・向上」(41.0%)の順で上位にあがった。



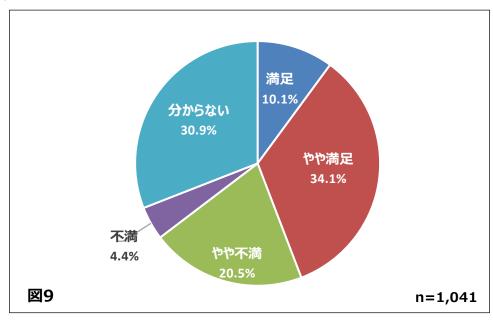
#### Q3 現在実施している情報セキュリティへの取組み

ISMS 認証未取得組織に現在実施している情報セキュリティへの取組みを尋ねたところ、「情報セキュリティ方針の策定」(31.5%)が最も多かった。次いで「社内規定の整備」(24.1%)、「情報セキュリティ に関する 事故 対応体制の構築」(23.5%)の順で上位にあがった。「その他」と回答したうちの約 10%についてはウイルス対策ソフトの導入を挙げているが、残りは「特に何もしていない」であった。



#### Q4 情報セキュリティへの取組みの成果に対する満足度

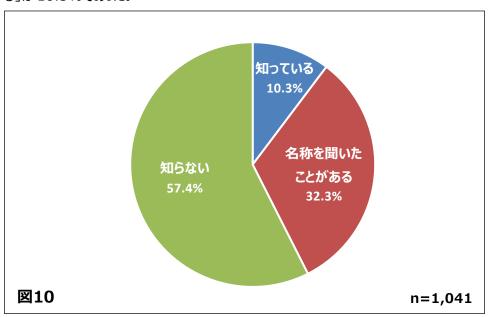
ISMS 認証未取得組織における、情報セキュリティへの取組みの成果に対する満足度として、「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「分からない」の 5 段階で尋ねたところ、情報セキュリティへの取組みの成果に満足している組織(「満足」または「やや満足」と回答した組織)は 44.2%となった。成果が不満(「不満」または「やや不満」)とする組織は約 25%にとどまる一方、満足度が「分からない」組織が全体の3割を占めた。



#### (2) ISMS 認証未取得組織における ISMS 認証に対する認識

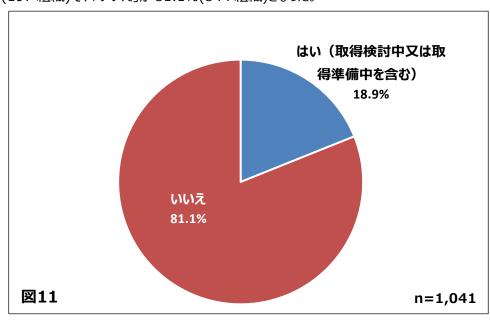
#### Q5 ISMS 認証の認知度

ISMS 認証未取得組織に ISMS 認証の認知度を尋ねたところ、「知らない」が 57.4%で半数を超え、「知っている」は 10.3%であった。



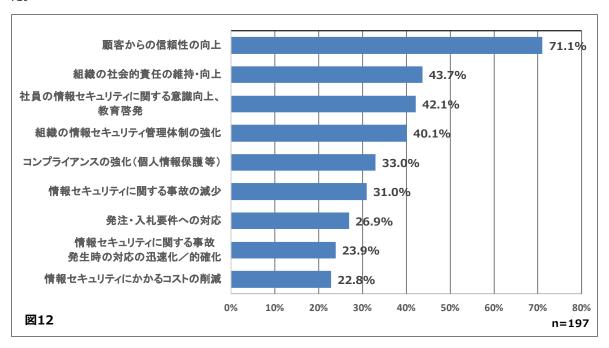
#### Q6 ISMS 認証取得の希望

ISMS 認証が国際規格に基づく情報セキュリティマネジメントシステムの認証であり、国内では既に 6,000 を超える組織が取得済みで、入札条件等にも広く利用されていることを説明した上で、ISMS 認証 未取得組織に ISMS 認証取得の希望を尋ねたところ、「はい(取得検討中又は取得準備中を含む)」は 18.9%(197 組織)で、「いいえ」が 81.1%(844 組織)となった。



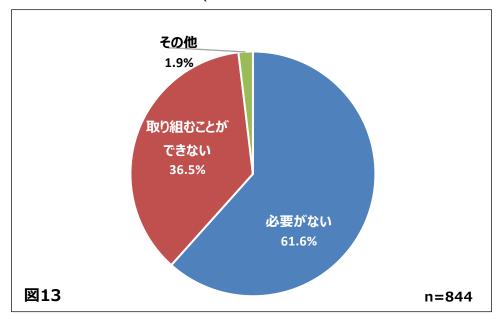
#### Q7 ISMS 認証取得に期待するメリット

ISMS 認証未取得組織のうち、ISMS 認証取得を希望する組織に、ISMS 認証取得に期待するメリットを尋ねたところ、「顧客からの信頼性の向上」(71.1%) が最も多かった。次いで「組織の社会的責任の維持・向上」(43.7%)、「社員の情報セキュリティに関する意識向上、教育啓発」(42.1%)、「組織の情報セキュリティ管理体制の強化」(40.1%)の順で上位にあがった。この他の選択肢は、4 割に満たなかった。



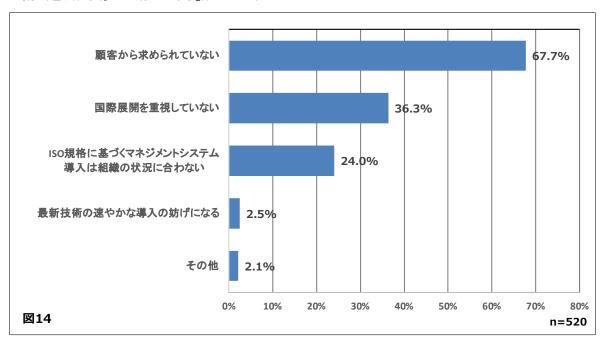
#### Q8 ISMS 認証の取得を希望しない理由

ISMS認証未取得組織のうち、ISMS認証取得を希望しない組織にその理由を尋ねたところ、「必要がない」(61.6%)、「取り組むことができない」(36.5%)となった。



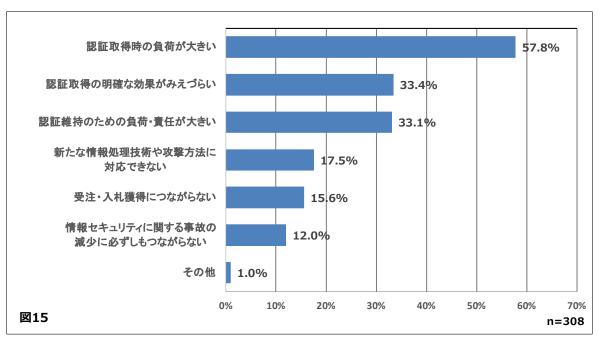
#### Q8a ISMS 認証取得は必要がないと考える理由

ISMS認証取得は必要がないと回答した組織にその理由を尋ねた結果、「顧客から求められていない」 (67.7%) が最も多かった。次いで「国際展開を重視していない」(36.3%)、「ISO規格に基づくマネジメントシステム導入は組織の状況に合わない」(24.0%)の順で多く、「(セキュリティ対策に関する)最新技術の速やかな導入の妨げになる」が2.5%あった。



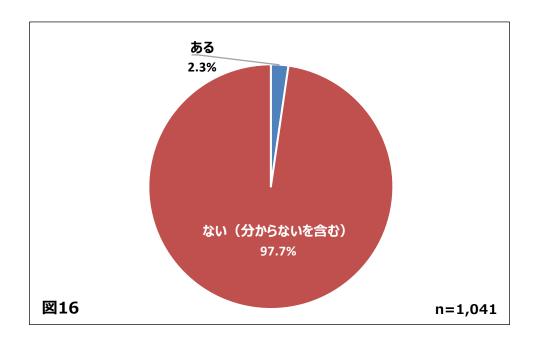
#### Q8b ISMS 認証取得に取り組むことができないと考える理由

ISMS認証取得に取り組むことができないと回答した組織にその理由を尋ねたところ、「認証取得時の負荷が大きい」(57.8%)が最も多かった。次いで「認証取得の明確な効果がみえづらい」(33.4%)、「認証維持のための負荷・責任が大きい」(33.1%)の順で上位にあがった。この他の選択肢は、2割に満たなかった。



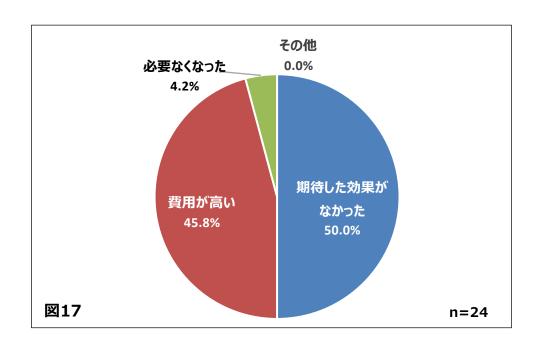
#### Q9 過去の ISMS 認証取得の有無

ISMS認証未取得組織に過去のISMS認証取得の有無を尋ねたところ、取得していたことが「ある」は 2.3%あったが、「ない(分からないを含む)」が97.7%であった。



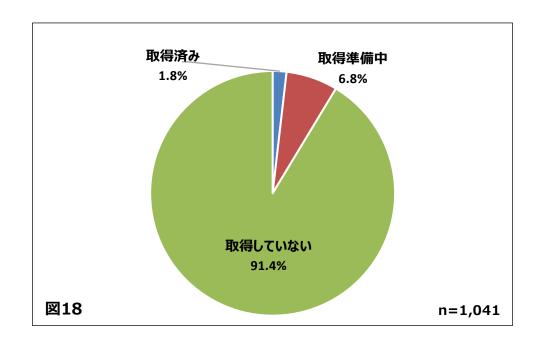
#### Q9a ISMS 認証を維持しなかった理由

過去に ISMS 認証取得したことがあるとの回答に対して ISMS 認証を維持しなかった理由を尋ねた結果、「期待した効果がなかった」が 50.0%で半数を占めた。次いで「費用が高い」(45.8%)であった。



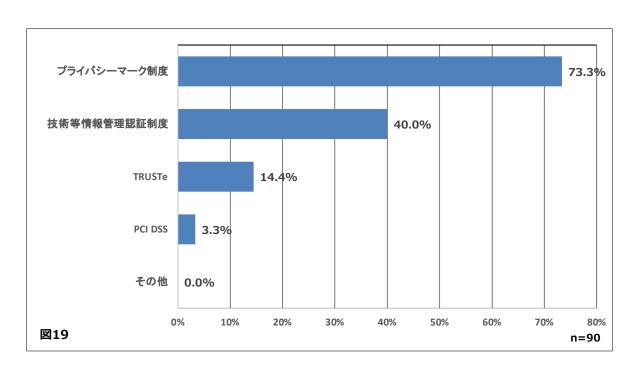
#### Q10 情報セキュリティ認証の取得有無

ISMS 認証以外の情報セキュリティに関係する認証の取得有無を尋ねた結果、「取得していない」が 91.4%を占めた。



#### Q10a 情報セキュリティ認証の取得状況

ISMS 認証以外の情報セキュリティに関係する認証が「取得済み」「取得準備中」の場合、どの認証を取得または取得準備中かを尋ねた結果、「プライバシーマーク制度」(73.3%)が最も多く、次いで「技術等情報管理認証制度」(40.0%)、「TRUSTe」(14.4%)、「PCI DSS」(3.3%)の順であった。



#### 2. 経営上の重要度を軸としてみたときの傾向

Q1 で得られた「経営上における情報セキュリティの重要性の認識」の度合いと、次の各質問結果との関連性を調べた。

·F2: 所属組織の業種

・Q2:情報セキュリティに期待する効果

・Q3 : 現在実施している情報セキュリティへの取組み

・Q4:情報セキュリティへの取組の成果に対する満足度

·Q5 : ISMS 認証に対する認識

·Q6 : ISMS 認証取得の希望

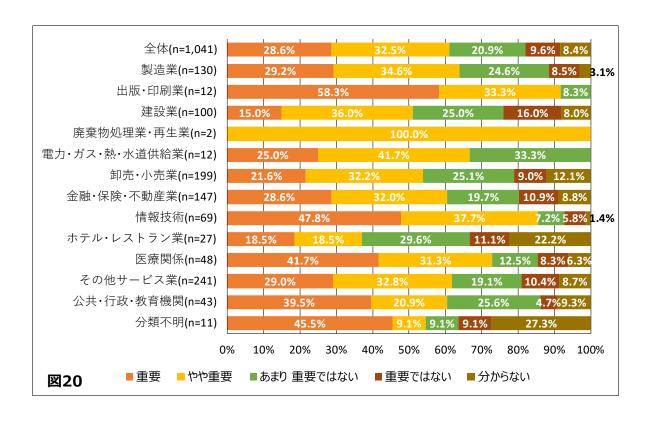
・Q8a : ISMS 認証取得は必要ないと考える理由

・Q8b : ISMS 認証取得に取り組むことができないと考える理由

・Q10: ISMS 認証以外の情報セキュリティに関する認証取得の有無

#### (1) 所属組織の業種 (F2×Q1)

下図は、所属組織の業種別に情報セキュリティの重要性への認識の度合いを集計したものである。 情報セキュリティを「重要」と考える業種は、出版・印刷業(58.3%)、情報技術(47.8%)、医療関係(41.7%)の順で多くなっている。「重要」に「やや重要」を加えると、出版・印刷業、廃棄物処理業・再生業及び情報技術が80%を超えている。一方、「重要」とした割合が低かったのは、建設業(15.0%)、ホテル・レストラン業(18.5%)、卸売・小売業(21.6%)であり、特にホテル・レストラン業では合計で60%を超える組織が、情報セキュリティを「あまり重要ではない」、「重要ではない」、あるいは「分からない」と答えている。



#### (2) 情報セキュリティに期待する効果(Q2×Q1)

下図は、情報セキュリティに期待する効果を、経営上の情報セキュリティの重要度別に集計したものである。 例えば、「内部不正の防止(故意、不注意を含む)」に期待する割合は、回答全体では 29.7%であるが、 情報セキュリティが経営上「重要」としている組織に絞ってみると、その割合は 51%となっている。

Q1	Q2	内部不正の 防止(故 意、不注意 を含む)	外部からの 悪意のある 攻撃からの 防御	利用するイン ターネット サービス、 IoT機器の 脆弱性に対 する攻撃から の防御	サプライ チェーンの弱 点に対する 攻撃からの	顧客の信頼、社会的信頼の維持・向上	個人情報の 漏洩防止	その他
全体	n=1,041	29.7	54.9	33.4	9.6	41.0	48.8	1.1
重要	n=298	51.0	77.5	50.3	17.8	59.4	53.0	0.0
やや重要	n=338	33.4	63.6	36.1	8.6	44.1	36.7	0.0
あまり重要ではない	n=218	12.4	30.3	22.5	4.1	28.4	51.8	0.5
重要ではない	n=100	7.0	32.0	13.0	4.0	22.0	54.0	7.0
分からない	n=87	11.5	31.0	16.1	5.7	19.5	67.8	3.4

图 21

経営上の情報セキュリティの重要度別に、情報セキュリティに期待する効果をみると、情報セキュリティが経営上重要であると考える組織(「重要」、「やや重要」と回答した組織)では「外部からの悪意のある攻撃からの防御」への期待が最も多く、6割を超えた。

一方、情報セキュリティが経営上重要ではないと考える組織(「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した組織)では、「個人情報の漏洩防止」への期待が最も多く、5割を超えた。重要度が「分からない」場合、も「個人情報の漏洩防止」への期待が最も多く、7割近くを占めた。

#### (3) 現在実施している情報セキュリティへの取組み(Q3×Q1)

次の図は、現在実施している情報セキュリティへの取組みを、経営上の情報セキュリティの重要度別に集計したものである。

情報セキュリティが経営上「重要」と回答した組織は、いずれの取組みも全体平均より実施率が高い。なかでも「情報セキュリティ方針の策定」は最も実施率が高く 50.0%であり、それ以外の取組み実施率も 3 割以上のものが多い。情報セキュリティが経営上「やや重要である」と回答した組織では、「情報セキュリティ方針の策定」が最も高く32.2%で、それ以外の取組みの実施率は3割以下である。

一方、情報セキュリティは経営上「重要ではない」、「あまり重要ではない」と回答した組織では、「あまり重要ではない」とした組織の「情報セキュリティに関する事故対応体制の構築」がやや高い(22.5%)他は、情報セキュリティへの取組全般の率が低いことが分かる。

Q1	Q3	情報セ キュリティ 方針の 策定	情報セ キュリティの 責任者/ 担当者の 設置	社内規定 の整備	技術的対 応策の 強化	情報セ キュリティ サービスの 導入 (コン サルティン グ、監監視 等)	社員等の 教育訓練	マネジメン ト層の関 与の強化 (経営層へ の迅速な報 告等)	サプライ チェーク 策(委託先監 で要託先監督・託券を 登託時ので 要報達を 報達を ない、情 を を を を を を を を を を の を に を に を に を に を	情報セ キュリティに 関する 事故対応 体制の 構築	その他
全体	n=1,041	31.5	19.6	24.1	20.7	17.3	21.4	10.8	5.5	23.5	9.4
重要	n=298	50.0	35.6	39.6	34.2	31.9	34.6	17.1	11.4	33.2	2.0
やや重要	n=338	32.2	21.3	27.5	21.9	18.0	16.6	10.9	3.8	18.9	3.3
あまり重要ではない	n=218	17.0	6.9	12.4	11.0	6.9	16.5	7.3	2.8	22.5	13.3
重要ではない	n=100	17.0	5.0	7.0	11.0	4.0	14.0	2.0	2.0	15.0	31.0
分からない	n=87	18.4	6.9	6.9	4.6	5.7	16.1	6.9	2.3	20.7	24.1

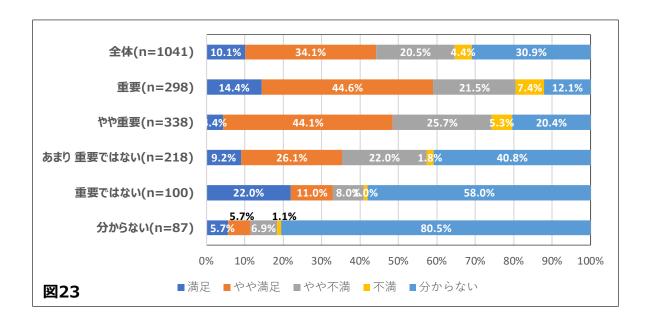
图 22

#### (4) 情報セキュリティへの取組の成果に対する満足度(Q4×Q1)

次の図は、現在実施している情報セキュリティへの取組の成果に対する満足度を、経営上の情報セキュリティの重要度別に集計したものである。

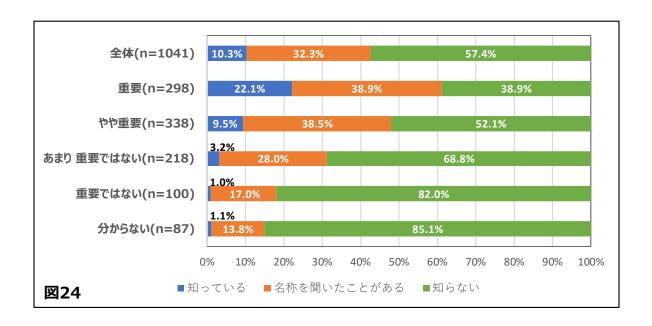
情報セキュリティが経営上「重要」、「やや重要」と回答した組織では、現在実施している情報セキュリティへの 取組の成果に対する満足度が高く、情報セキュリティの経営上の重要度が低くなるほど、情報セキュリティへ の取組の成果に対して満足かどうかが「分からない」と回答する割合が増加する。

情報セキュリティの経営上の重要度が「分からない」と回答した組織では、満足度が「分からない」が8割を占める。



#### (5) ISMS 認証に対する認識(Q5×Q1)

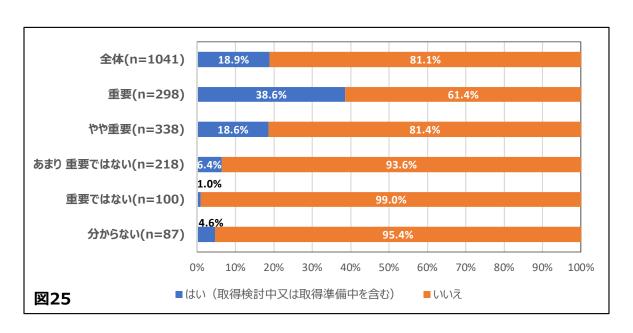
経営上の情報セキュリティの重要度別に、ISMS 認証の認知度をみると、経営上の重要度が高いとした組織ほど、ISMS 認証を「知っている」、「名称を聞いたことがある」という割合が高く、ISMS 認証の認知度が高いといえる。ISMS 認証を「知らない」とする組織は、情報セキュリティが経営上「重要」と回答した組織では38.9%だが「重要ではない」や「分からない」場合、8割以上を占める。



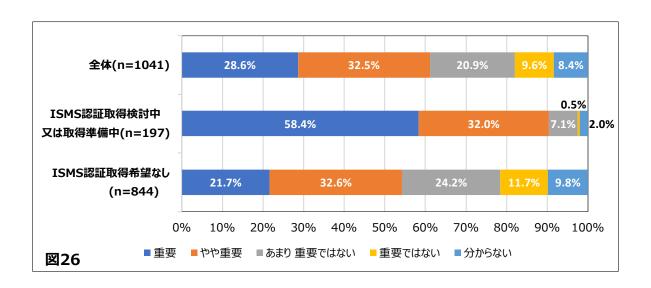
#### (6) ISMS 認証取得の希望(Q6×Q1)

経営上情報セキュリティが「重要」と回答した組織の 38.6%が「はい(取得検討中又は取得準備中を含む)」と回答し、ISMS 認証取得を希望している。

一方、経営上情報セキュリティが「重要ではない」、「分からない」とした組織では、『ISMS 認証の取得組織は 6,000 を超え、入札条件としても多く利用されている』と説明を受けたうえでも、95%以上が ISMS 認証の取得を希望しないと回答した。



前の図(図 25)のデータについて、ISMS 認証取得希望の有無の別に情報セキュリティの重要度への考えをまとめると、次のようになる。



ISMS 認証の取得を検討中あるいは取得準備中の組織は、その 90%以上が情報セキュリティを「重要」又は「やや重要」としているが、ISMS 認証の取得を希望していない組織でも、その半数以上は情報セキュリティが「重要」あるいは「やや重要」としている。

#### (7) ISMS 認証取得は必要ないと考える理由(Q8a×Q1)

Q8で「ISMS 認証は取得する必要がない」と回答した組織について、経営上の情報セキュリティの重要度別に、必要がないと考える理由をみると、重要度にかかわらず「顧客から求められていない」が最も多い。次いで、経営上情報セキュリティが「重要」、「やや重要」と考える組織では、「ISO 規格に基づくマネジメントシステム導入は組織の状況に合わない」と回答する割合が全体平均より高い。一方、「重要ではない」、「わからない」と回答した組織では、「国際展開を重視していない」と回答する割合が全体平均よりも高い。

Q1	Q8a	顧客から求められ ていない	ISO規格に基づく マネジメントシステ ム導入は組織の 状況に合わない	最新技術の速や かな導入の妨げに なる	国際展開を重視 していない	その他
全体	n=520	67.7	24.0	2.5	36.3	2.1
重要	n=87	64.4	27.6	2.3	32.2	2.3
やや重要	n=144	63.9	32.6	5.6	36.1	1.4
あまり重要ではない	n=155	74.8	19.4	0.6	31.6	1.3
重要ではない	n=81	70.4	18.5	1.2	40.7	3.7
分からない	n=53	58.5	17.0	1.9	50.9	3.8

図 27

#### (8) ISMS 認証取得に取り組むことができないと考える理由(Q8b×Q1)

Q8 で ISMS 認証取得を希望しない理由として「取り組むことができない」と回答した組織を対象として、経営上の情報セキュリティの重要度別に取り組むことができないと考える理由をみると、情報セキュリティの重要度に関わらず「認証取得時の負荷が大きい」が最も多く、特に経営上情報セキュリティが「重要」と考える組織では7割以上の組織が理由にあげている。

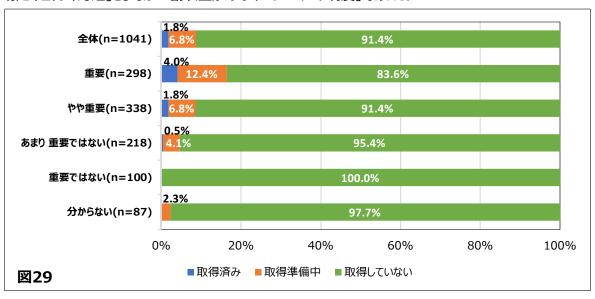
次いで、「重要」、「やや重要」と考える組織では 4 割前後の組織が「認証維持のための負荷・責任が大きい」を理由にあげている。「重要ではない」、「やや重要ではない」と考える組織では、「認証取得の明確な効果がみえづらい」を理由にあげているが、割合としては全体平均と同じく3割程度である。

Q1	Q8b	認証取得 時の負荷 が大きい	認証維持 のための負 荷・責任が 大きい	認証取得 の明確な 効果がみ えづらい	受注・入 札獲得に つながらな い	情報セキュ リティに関 する事故 の減少に 必ずしもつ ながらない	新たな情 報処理技 術や攻撃 方法に対 応できない	その他
全体	n=308	57.8	33.1	33.4	15.6	12.0	17.5	1.0
重要	n=86	72.1	38.4	36.0	14.0	15.1	10.5	1.2
要重かか	n=127	56.7	40.2	32.3	18.9	7.9	17.3	0.8
あまり重要ではない	n=48	50.0	20.8	35.4	12.5	14.6	18.8	0.0
重要ではない	n=18	50.0	22.2	33.3	27.8	16.7	27.8	0.0
分からない	n=29	37.9	13.8	27.6	3.4	13.8	31.0	3.4

図 28

#### (9) ISMS 認証以外の情報セキュリティに関する認証取得の有無(Q10×Q1)

経営上の情報セキュリティの重要度別に、ISMS 認証以外の情報セキュリティに関連する認証の取得有無をみると、経営上の重要度が高いほど「取得済み」、「取得準備中」の割合が高く、「重要」と回答した組織では 16.4%が、他の情報セキュリティ認証を「取得済み」あるいは「取得準備中」と答えた。なお、「他の情報セキュリティ認証」としては 7 割以上が「プライバシーマーク制度」であった。



#### IV. まとめ

今回の調査結果は、ISMS 認証未取得組織 1,041 組織の経営層における情報セキュリティ及び ISMS 認証に対する認識を示すものである。

今回の調査結果では、ISMS 認証未取得組織の約 6 割で情報セキュリティを経営上重要と認識しているものの、ISMS 認証を知っている組織は約1割であり、ISMS 適合性評価制度の認知度向上については課題が残る結果となった。ISMS 認証取得に取り組むことができない理由としては、取得時の負荷を上げる組織が最も多く、取得を希望する組織に対する情報提供等の支援策の在り方などについても、今後検討すべき事項の一つである。

ISMS 認証を「取得している組織」に対する過去のアンケート結果では、組織の業種の 6 割近くが「情報技術」であったが、今回の調査では、それらとは異なる業種、規模から多くの回答を得た。出版・印刷業、情報技術、廃棄物処理業・再生業については80%以上の組織が情報セキュリティを「重要」あるいは「やや重要」としている一方で、ホテル・レストラン業については60%以上が「あまり重要ではない」、「重要ではない」、あるいは「分からない」としていて、業種による情報セキュリティに対する考え方の差が表れている。ISMS 認証の普及拡大に向けた具体策の検討にあたっては、これらの業種毎、規模毎のニーズへの対応の在り方も、視野に入れる必要がある。

昨今の情報セキュリティに対するニーズは、クラウドの利用やテレワークの広がり、IoT機器の普及拡大等から、 業種や規模を問わず高まっている。今回得られた調査結果の分析をさらに進め、関係各団体等とも協力し ながら ISMS 適合性評価制度の更なる普及拡大を目指し、我が国の情報セキュリティ基盤の底上げに寄 与していきたいと考える。

#### 付録:「情報セキュリティと認証制度に関するアンケート調査」設問

# 情報セキュリティと認証制度に関するアンケート調査

#### 貴組織のプロフィールを伺います。

F1

#### 【職責(ひとつ選択)】

- 1. 経営者
- 2. CISO または組織の情報セキュリティに責任を持つ立場
- 3. 情報セキュリティに関する事業部門長または部門長
- 4. CIO または組織内の情報システムに責任を持つ立場
- 5. その他 ( )

F2

#### 【業種】

主力業種を<u>ひとつ</u>選択してください。「8.」を選択した場合、さらに 8-1 から 8-12 から該当するものを1つのみ選択してください。

- 1. 製造業
- 2. 出版·印刷業
- 3. 建設業(エンジニアリングを含む)
- 4. 廃棄物処理業·再生業
- 5. 電力・ガス・熱・水道供給業
- 6. 卸売·小売業
- 7. 金融·保険·不動産業
- 8. 情報技術
- F2a 8-1 通信業
  - 8-2 放送業
  - 8-3 システムインテグレーション業
  - 8-4 受注ソフトウェア業
  - 8-5 ソフトウェアプロダクト業
  - 8-6 計算事務等情報処理業
  - 8-7 システム等管理運営受託業
  - 8-8 データベースサービス業
  - 8-9 各種調査業
  - 8-10 インターネット附随サービス業
  - 8-11 映像·音声·文字情報制作業
  - 8-12 その他 ( )

- 9. ホテル・レストラン業
- 10. 医療関係
- 11. その他サービス業 ( )
- 12. 公共·行政·教育機関
- 13. 分類不明 ( )

F3

#### 【資本金(ひとつ選択)】

- 1. 1000 万円以下
- 2. 1000万円超、5000万円以下
- 3. 5000 万円超、1 億円以下
- 4. 1億円超、3億円以下
- 5. 3 億円超
- 6. 該当せず(株式会社以外)

F4

#### 【従業員数(ひとつ選択)】

- 1. 5人以下
- 2. 5人超、20人以下
- 3. 20 人超、50 人以下
- 4. 50 人超、100 人以下
- 5. 100 人超、300 人以下
- 6. 300 人超、1000 人以下
- 7. 1000 人超

F5

#### 【都道府県(ひとつ選択)】

北海道	東京都	滋賀県	香川県
青森県	神奈川県	京都府	愛媛県
岩手県	新潟県	大阪府	高知県
宮城県	富山県	兵庫県	福岡県
秋田県	石川県	奈良県	佐賀県
山形県	福井県	和歌山県	長崎県
福島県	山梨県	鳥取県	熊本県
茨城県	長野県	島根県	大分県
栃木県	岐阜県	岡山県	宮崎県
群馬県	静岡県	広島県	鹿児島県
埼玉県	愛知県	山口県	沖縄県
千葉県	三重県	徳島県	国外

F6

#### 【ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム認証)をご存知ですか?】

- 1. 知っている
- 2. 名称を聞いたことがある
- 3. 知らない

注) ISMS: Information Security Management System

ISMS 認証 : 品質(ISO 9001)、環境(ISO 14001)と同様に、組織が構築した ISMS が国際規格 ISO/IEC

27001 に基づいていることを、第三者である ISMS 認証機関が審査し認証するもの。国内では 6,000 を超える組

織が認証を取得しており、入札条件としても広く使われています。

参考:ISMS 適合性評価制度 (https://isms.jp/isms.html)

F7

#### 【現在、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム認証)を取得していますか。】

- 1. 取得している
- 2. 取得していない(知らないを含む)

注) ISMS: Information Security Management System

ISMS 認証 : 品質(ISO 9001)、環境(ISO 14001)と同様に、組織が構築した ISMS が国際規格 ISO/IEC

27001 に基づいていることを、第三者である ISMS 認証機関が審査し認証するもの。国内では 6,000 を超える組

織が認証を取得しており、入札条件としても広く使われています。

参考:ISMS 適合性評価制度 (https://isms.jp/isms.html)

#### 組織の情報セキュリティについて伺います(設問数 4 問)

Q1

情報セキュリティは、貴組織の経営上、どの程度重要であると認識していますか?(ひとつ選択)

「重要」「やや重要」の場合、そ

の理由は何ですか?最もあてはまるものをひとつ選択してくだ

さい。

01

- 1. 重要
- 2. やや重要
- 3. あまり重要ではない
- 4. 重要ではない
- 5. 分からない

- 1. 組織の存在意義に係る必須事項である
- 2. 事業の成功要因の一つである
- 3. 事業効率に影響を及ぼす
- 4. 社員教育としてとらえている
- 5. その他(

#### Q2

貴組織が情報セキュリティに取り組むことにより期待する効果は何ですか?あてはまるものを**すべて**選択してください。

- 1. 内部不正の防止(故意、不注意を含む)
- 2. 外部からの悪意のある攻撃からの防御
- 3. 利用するインターネットサービス、IoT機器の脆弱性に対する攻撃からの防御
- 4. サプライチェーンの弱点に対する攻撃からの防御
- 5. 顧客の信頼、社会的信頼の維持・向上
- 6. 個人情報の漏洩防止
- 7. その他( )

Q3

情報セキュリティについて、組織として**現在実施している取組み**は何ですか?あてはまるものを<u>すべて</u>選択してください。

- 1. 情報セキュリティ方針の策定
- 2. 情報セキュリティの責任者/担当者の設置
- 3. 社内規定の整備
- 4. 技術的対応策の強化
- 5. 情報セキュリティサービスの導入(コンサルティング、監査診断、監視等)
- 6. 社員等の教育訓練
- 7. マネジメント層の関与の強化(経営層への迅速な報告等)
- 8. サプライチェーン対策 (委託時の委託先選定・契約・監督・検収、受託時の情報資源管理・委託 元監査への対応 等)
- 9. 情報セキュリティに関する事故対応体制の構築
- 10.その他 ( )

Q4

組織としての情報セキュリティへの取組みの成果に対し、満足していますか?(ひとつ選択)

- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. やや不満
- 4. 不満
- 5. 分からない

### 情報セキュリティに関する認証制度について伺います(設問数6問)

Q 5

ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)認証をご存知ですか? (ひとつ選択)

- 1. 知っている
- 2. 名称を聞いたことがある
- 3. 知らない
  - 注) ISMS: Information Security Management System

ISMS 認証: 品質(ISO 9001)、環境(ISO14001)と同様に、組織が構築した ISMS が国際規格 ISO/IEC 27001 に基づいていることを、第三者である ISMS 認証機関が審査し認証するもの。国内では 6,000 を超える組織が認証を取得しており、入札条件としても広く使われています。

参考: ISMS 適合性評価制度 (https://isms.jp/isms.html)

Q6

ISMS 認証を取得したいと思いますか? (ひとつ選択)

- 1. はい(取得検討中又は取得準備中を含む)
- 2. いいえ

Q7

#### 【Q6で「1. はい(取得検討中又は取得準備中を含む)」を選択した方に伺います】

ISMS 認証を取得することにより、どのようなメリットを期待しますか?あてはまるものを**すべて**選択してください。

- 1. 顧客からの信頼性の向上
- 2. 発注・入札要件への対応
- 3. 組織の社会的責任の維持・向上
- 4. 社員の情報セキュリティに関する意識向上、教育啓発
- 5. 組織の情報セキュリティ管理体制の強化
- 6. 情報セキュリティにかかるコストの削減
- 7. 情報セキュリティに関する事故の減少
- 8. 情報セキュリティに関する事故発生時の対応の迅速化/的確化
- 9. コンプライアンスの強化(個人情報保護等)
- 10.その他( )

Q8

#### 【〇6で「2. いいえ」を選択した方に伺います】

ISMS 認証の取得を希望しないのはなぜですか? (3 つよりひとつ選択)

- 1. 必要がない
- 2. 取り組むことができない
- 3. その他 ( )

Q8a

#### 【Q8で「1. 必要がない」を選択した方に伺います】

「必要がない」と考える具体的な理由は何ですか?あてはまるものをすべて選択してください。

- 1. 顧客から求められていない
- 2. ISO 規格に基づくマネジメントシステム導入は組織の状況に合わない
- 3. 最新技術の速やかな導入の妨げになる
- 4. 国際展開を重視していない
- 5. その他 ( )

Q8b

#### 【Q8で「2. 取り組むことができない」を選択した方に伺います】

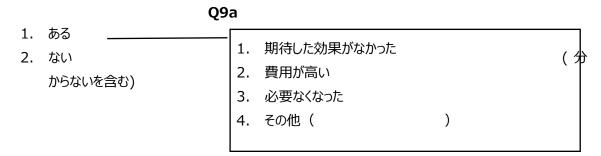
「取り組むことができない」と考える具体的な理由は何ですか?あてはまるものをすべて選択してください。

- 1. 認証取得時の負荷が大きい
- 2. 認証維持のための負荷・責任が大きい
- 3. 認証取得の明確な効果がみえづらい
- 4. 受注・入札獲得につながらない
- 5. 情報セキュリティに関する事故の減少に必ずしもつながらない
- 6. 新たな情報処理技術や攻撃方法に対応できない
- 7. その他 ( )

#### Q9

貴組織では、過去に ISMS 認証を取得したことがありますか? (ひとつ選択)

「ある」の場合、ISMS 認証を維持しなかった理由は何ですか?最もあてはまるものをひとつ選択してください。



#### Q10

#### 【ISMS 認証以外の認証について伺います。】

組織として、情報セキュリティに関する認証を取得していますか?(ひとつ選択)

「取得済み」「取得準備中」の場合、どの認証を取得または取得準備中ですか? あてはまるものを<u>すべ</u> て選択してください。

